

議会だより



敬老会での演奏（苗羽小学校）

- 審 議 議 案 7月臨時会・9月定例会について… 2 ～ 4
- 一 般 質 問 8人の議員が質問 …………… 4 ～ 9
- 住民の声・まちの力 …………… 10

7月臨時会

第3回臨時会を7月19日に開催しました。契約案件1件が提案され慎重に審議した結果、原案通り可決しました。

工事請負契約

- 工事名
一般廃棄物最終処分場整備 浸出水処理施設建設工事
- 相手方
西原環境・香川舗道特定建設工事共同企業体
- 契約金額
10億440万円

Q 現在の施設は費用がこんなに多かったのかな

A 環境省が施設の設計基準を設けている。近年、雨量が非常に増加しており、大型の調整槽を設計する必要がある。金額については、あらかじめ数社に

見積もりをとっている。

Q 今後の予定、計画、予算的にはどうなるのか。

A 今回の工事が全体額の概ね半分である。今後の予定として、造成工事、堤をつくる工事、背後地の山からの雨水を集約して海に流すパイパス工事が予定されている。令和4年稼働開始を目指している。



工事現場の様子

9月定例会

9月定例会を9月11日から20日の10日間開催しました。平成30年度の各会計決算認定をはじめ、条例案件7件、契約案件4件、予算案件2件、人事案件1件が提案されたほか、報告1件、請願1件がありました。決算認定を決算特別委員会に、条例案件1件、請願については総務建設常任委員会に付託し慎重に審査を行いました。議案は全て原案通り可決され、請願は不採択となりました。また、8人の議員から一般質問がありました。

審議した主な議案

補正予算

一般会計（第3号）
追加補正予算額
4389万円

（農林水産業費）

オリーブ生産拡大

総合支援事業補助金

1167万円

申請件数が増となったため、増額補正しました。

（総務費）
旧サイクリングターミナル解体撤去工事設計委託料

480万円

来年度解体撤去工事を行うための設計委託料です。

吉田漁港海岸保全区域指定申請書作成業務委託料

197万円

吉田漁港海岸保全施設の長寿命化計画の策定にあたり、海岸保全区域の見直しが必要となったので、その作業の委託料です。

（商工費）

二十四の瞳映画村内駕籠や跡ギャラリー改修事業補助金

1000万円



改修された施設（海洋堂アートギャラリー）

二十四の瞳映画村内の駕籠や跡をアートギャラリーとして改修するための、岬の分教場整備運営基金繰入金

を財源とした補助金です。

Q 新造船の計画については。

A 今の船より若干短くなる。来年の夏の終わりにごろに就航予定と聞いている。

（消防費）

小型動力ポンプ購入事業

140万円

二面分団の小型動力ポンプ更新のための購入費です。

（教育費）

学校振興補助金

30万円

15件の寄付がありました。寄付者の意向に沿い、苗羽小学校音楽部を育てる会に対して補助を行います。

（土木費）

草壁港係船柱設置工事

160万円

内海フェリーの新造船に伴う係船柱の新設工事費です。

土地購入費

165万円

賃借している橘子ども園の園庭の購入費です。

介護保険事業

特別会計（第1号）

1419万円増の20億6995万円となりました。主な要因は平成30年度事業の精算によるものです。

条例の一部改正

印鑑条例

旧姓で印鑑登録が出来るように改正します。施行日は11月5日です。

災害弔慰金の支給等に関する条例

国の法令改正に伴い、償還免除となった場合の報告について規定しました。

町立学校条例

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律及び関係法令の整備

に伴い改正しました。幼稚園の保育料が無料となりました。ただし、給食費や預かり保育等の一部の費用は無料となりません。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

町立学校条例と同様の理由により改正しました。保育所の保育料が3歳児クラスから無料となりました。ただし、給食費や延長保育等の一部の費用は無料となりません。

町職員の給与に関する条例及び消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

国の法令整備に伴い、町職員及び消防団員の欠格条項について改正するものです。施行日は12月14日です。

消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例

町管理施設の使用料について、消費税及び地方消費税の税率改定に伴い改正しました。

財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例

ポツダム政令に従い所有者名義を町とした土地に関して、自治会が法人格を有し、管理を行っている場合は自治会へ無償譲渡できるように改正しました。

工事請負契約

●工事名

草壁地区改良住宅

改修等工事（E工区）

●相手方

壺井工務店(株)

●契約金額

8478万円

草壁地区改良住宅の改修工事を行います。

Q 平成26年より行ってきたが、全体の工事完了はいつになるのか。

入居していない住宅も改修を行うのか。

A 発注工事は令和2年

度が最終年度である。施設の長寿命化が目的であり、入居の有無に関係なく全て実施する。

一般廃棄物最終処分場整備関係

●工事名

雨水バイパス管

改修工事（第1工区）

●相手方 香川舗道(株)

●契約金額

1億670万円

●工事名

雨水バイパス管

改修工事（第2工区）

●相手方 田村石材(株)

●契約金額

9004万円

一般廃棄物最終処分場整備に伴い、背後地の山からの雨水を集約して海へ流すバイパス管の改修工事を行います。

Q 平成26年より行ってきたが、全体の工事完了はいつになるのか。

入居していない住宅も改修を行うのか。

A 発注工事は令和2年

契約の変更

●工事名

一般廃棄物最終処分場整備 浸出水処理施設建設工事

変更前

10億440万円

変更後

10億2300万円

消費税率改定に伴い契約を変更するものです。

人事案件

人権擁護委員

大石雅章氏の任期満了に伴い、人権擁護委員に松岡裕之氏を推薦することに適任との答申を行いました。任期は3年です。



松岡 裕之氏(安田)

請願

「所得税法第56条の廃止」の意見書採択を求める請願

提出者

小豆島民主商工会

婦人部

部長 岡本佐智子

審議した結果、不採択となりました。

財政健全化法に基づく報告

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、介護保険施設事業の資金不足比率について、全て健全な状況との報告がされました。

町の収入に対する借金返済額の比率である実質公債費比率は、前年度から0.9ポイント悪化の6.0%となっています。その主な要因は小豆島中央病院の元金償還に対する公債費負担が増となったことによるものです。



小豆島中央病院

決算特別委員会

9月13日～19日にかけて開催し、次の意見を付して認定しました。

【税務課】

- ・固定資産税の前納報奨金のあり方については、慎重に議論を進められたい

【総務課】

- ・職員研修を積極的に実施する等、人材育成に努められたい。
- ・避難所の標識は、地区外の人にもわかるよう道路にも設置する等の検討をされたい

【住民課】

- ・戦没者追悼式は町で一本化できるよう、遺族会等への働きかけに努められたい

【農林水産課】

- ・鳥獣害対策の一層の推進に努められたい

【オリーブ課】

- ・サン・オリーブの今後のあり方について検討されたい

藤井 孝博（7P）

- 小豆島町と銀行・大学・保険会社との包括連携協定の活用は
- 観光事業の誘致戦略について

安井 信之（5P）

- 教員の働き方改革に伴う影響・対策について
- 老老介護の問題をどのように検討しているのか

柴田 初子（7P）

- ごみの減量化とリサイクル対策は

森 崇（5P）

- 観光地として、放置すべきでない廃虚のホテル
- 草壁～高松の高速艇の運休について

大川 新也（8P）

- 自然環境保全条例の制定を
- 学校再編はもっと議論を
- 区域外就学の現状は

大下 淳（6P）

- 日本遺産による地域活性化策は

鍋谷真由美（9P）

- 保育“無償化”で給食費徴収はやめよ
- 引きこもり支援は
- 食品ロス削減について

森口 久士（6P）

- ゲーム依存の対応は
- 不登校に関して

一般質問

9月定例会で8人の議員が町政に対して質問をしました。その要約した内容をお知らせします。



安井 信之 議員

教員の働き方改革に伴う 影響・対策について

町「早い時期に保護者の方に周知したい」

質問 働き方改革の犠牲になるのは子どもたちだと考えるが。

答弁 教職員の働き方改革等は、文部科学省や県教育委員会が策定した改革プラン等を参考に、本年4月に小豆島町教職員の働き方改革プラン及び小豆島町立中学校部活動ガイド

ラインを策定した。

働き方改革プランの目的は、教職員が心身の健康を維持し、質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指すもので、教職員の長時間労働の軽減を図る取り組みを行っている。郡の水泳記録会の廃止は、今年の6月末で校長会等での議論で廃止が決まった。本来、

来年度以降の取り組みはその場で決定し、報告するのが当然であるが、早い時期に保護者の方に周知したい。

再質問 教育現場にある程度の予算を割くのか。

答弁 教育現場からの要望があれば、対応すべく検討していきたい。

老老介護の問題をどのように検討しているのか

町「地域包括ケアの構築に連携し取り組んでいる」

質問 超高齢化社会の問題解決のためにモデル事業を考えるべきではないか。

答弁 小豆島町は、75歳以上の人口は今後とも上昇する見込みとなっている。第7期小豆島

町介護保険事業計画、老人福祉計画では、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムの構築を図るために、島内の職種が連携し取り組んでいる。

再質問 特区という考えは。

答弁 小豆島中央病院における地域包括ケア病床設置は、病棟単位でしかできなかったものを病床単位でやる意味で先進的な事例だと思う。小豆島でしかできないこと、またそういうことを提言していきたい。



森 崇 議員

観光地として、放置すべきでない廃虚のホテル

町「町が代わりに除却するのは困難だ」

区の一部には割れたガラスが落ちて来るそう

質問 7月の四国新聞で観光客が投稿した文書で、島内の廃虚となったホテルを見て「何?」と思ったことが書かれていた。

高橋旅館等を見て観光地なのにと心配する内容であった。ホテルのある古江地

悪化も憂慮される。物件所有者に代わり町が除却する方策もあるが、多額の費用がかかり住民の負担となり、困難だ。町としては、今後も国の政策動向を注視する一方、物件監視や手続き研究を継続していく。

草壁く高松の高速艇の運休について

町「航路の存続、安定的な運営について必要であれば国・県へ要望したい」

質問 草壁港から高松港間の高速艇が止まって9月で2年経過した。

町民からはいつまで遠回りの道を通らされるのかと言われる。草壁港から高松港は補助航路とすべきだ。運休には色々な要因があると

は思うが、可能性があるので、町は高速艇再開を諦めているのでは。

答弁 島国にとって航路は道であり人々は外の世界と交流し、つながりを持つ事ができる。航路の維持、存続



廃虚となったホテル

は島の活性化には重要な課題だ。しかし、補助航路については非常に難しいと思う。いかに航路が存続し安定的な運営ができるか検討しながら、必要であれば国、県へも要望したい。

一般質問



大下 淳 議員

日本遺産による地域活性化策は

町「魅力発信と共に人材育成や普及啓発に努める」

とし、2市2町で連携して取り組んでいく。

紹介動画やホームページを制作し、魅力を発信する。

また、ガイドマニュアルを作成し、人材育成にも努める。

今後、どのように地域活性化策を展開していくのか。

【答弁】「備讃諸島日本遺産推進協議会」を母体



池田の棧敷

【再質問】全国にある1741自治体のうち、約3割が何がかの日本遺産を持つことが予想されるとともに、他県の日本遺産にも「同じような「石の文化」が存在する。個性ある施策をどのようにして打ち出されるのか。

【答弁】よそにはない「海に囲まれた遺産」という独自性を活かした取り組みを推進し、海の復権と島の再生を目指したい。

【再質問】事業には当然、「効果」が問われるが、日本遺産にかかる事業の効果をどのように判定されるのか。

【答弁】観光客数を初めてとする評価指標が定められている。

また、ホームページへのアクセス数や新しい旅行プラン、遺産ガイドの養成人数など文化庁への報告義務もある。公民館や図書館などでの展示を行い、住民の理解が深まるような取り組みも進めていきたい。

【再質問】観光客数を初めてとする評価指標が定められている。



森口 久士 議員

ゲーム依存の対応は

町「保護者への啓発を行う」

生以上と中学生全員にスマートフォンやゲーム依存に関する調査を行った。

幼稚園・保育所など就学前の児童の利用状況は調査していない。

【答弁】ゲーム依存は深刻な問題である、教育委員会と各学校との連携による予防対策は大変重要だと認識している。

今年6月、小学4年

不登校に関して

町「適切な対応に努めたい」

【質問】文科省は、今年6月全国の教育委員会に悩みを抱える子ども

の早期発見に学校が努めることや、保護者や地域が連携して子どもを見守ることなどを通知した。本町の対応は。

【答弁】不登校は担任が本人との面談に努める。保護者にも働きかけ、状況に応じてスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとも連携し取り組んでいる。

状況に応じ健康づくり福祉課と連携、対応について協議している。悩みを抱える児童・生徒・保護者家庭状況等を十分に把握して、適切な対応に努めたい。



ネット依存の注意喚起のパンフレット(香川県作成)



藤井 孝博 議員

小豆島町と銀行・大学・保険会社との包括連携協定の活用は

町「お互いの強みや資源を有効活用して連携協力していく」

【質問】小豆島町では、地域経済の持続的な発展等目的に、銀行、大学また保険会社と包括連携協定を締結しており、協定内容は色々な分野にわたっている。

地域間競争が激しさを増す昨今、相互のノウハウを有効活用して今、問われている「地域創生」に取り組むべきである。

そこで、包括連携協定を活用した活動の状況また、今後の取り組み計画等について伺います。

【答弁】地域間競争が激しくなる中、多種多様な課題に取り組むうえ

で、お互いの強みや資源を有効活用して連携協力していくことが重要である。

いま一度職員間で包括協定に関する情報を共有して課題の解決やアイデアの実現に向けて効果的な連携協力を検討する。

観光事業の誘致戦略について

町「小豆島の魅力をSNS等を活用して世界に発信する」

【質問】東京五輪に向け、外国人観光客の地方へ波及する期待感が高まっている。しかし市町村での誘致活動が遅れている。

ながるのので、観光地小豆島の将来にとって、大変重要な課題である。

そこで、東京五輪開催まで1年を切った現在、将来につながる、新たな地方誘致活動は行っているのか。

今回の誘致戦略は、東京五輪後の、大阪万博の旅行者誘致にもつ

【答弁】昨今、瀬戸内の島々が世界的にも注目を集めており、あらゆる手段を通じて小豆島の名前を世界に向け発信することが大切である。

本年度、本町のホームページをリニューアルして多言語対応など一層強化する。また、SNS等活用し小豆島の魅力を世界に発信する。



柴田 初子 議員

ごみの減量化とリサイクル対策は

町「二層の啓発と情報提供に努めてまいりたい」

【質問】令和4年完成の一般廃棄物最終処分場整備が進行中である。処理場延命策としての中間処理施設建設の予定は。

① 食品ロス、ごみの減量化を推進するには行政・住民・事業者の意識を全体で高める必要があるのでは。

② 小豆島では、最終処分場の整備に必要な用地の確保が大変困難なことから、ごみの減量化には一層の努力が求められていると認識し

ごみの減量化に対する住民意識の高揚は極めて重要な課題で、食品ロスの発生原因が消費者の生活習慣に起因するといわれているので、今後一層の啓発に努めてまいりたい。なお、資源ごみ排出方法については最新版を配布する予定だ。

ごみの分別の徹底、



最終処分場視察の様子

自然環境保全条例の制定を

町「条例は理念であり、規制はできない」



大川 新也 議員

【質問】 先日、あるＵターナーさんから「神浦が大変なことになっている」とのメールが入った。内容は神浦コミュニティセンターの対面の山際に太陽光発電施設工事が開始されている。



太陽光パネル設置予定地

【答弁】 確かに太陽光発電は国が推奨しているが、なぜこの場所にとの感がある。個人所有の土地への建設は止めようもないと思うが、「観光の島 小豆島」として自然環境保全に向けて何らかの手は打てないものか。土庄町には自然環境保全条例が制定されているが、本町は。

【答弁】 再生可能エネルギーを推奨する必要性は高いものと理解しているが、優れた自然景観を有する小豆島にあって、これらの施設整備には景観、環境、周辺住民の感情に十分に配慮する必要があると考えている。これまで町では整備しようとする業者から相談があった場合に

は、主に施設周辺の住民と適切な関係構築を図られるよう助言、指導に努めて来た。

条例の制定に関しては、自然保護に対する基本理念を定めるもので、開発行為に対する規制を定めるものではない。

これらの施設整備に對する諸問題が全国的に顕在化していることから、国の動向を注視し、調査研究を進めて行きたい。

区域外就学の現状は

町「原則住所のある区域により決定」

【質問】 区域外就学については、「町立小学校及び中学校通学区域並びに町立幼稚園通学区域に関する規則」にて区域が指定されている。

しかし「特別な事情があり、指定校変更申請をして認められた場合は、希望する学校に就学することができるとあるが、小・中学校の現状はどうなっているのか。

【質問】 区域外就学については、原則規則により住所のある区域によって決定する。しかし、やむを得ない事情がある場合は教育委員会の許可を受け

【答弁】 就学する学校等については、原則規則により住所のある区域によって決定する。しかし、やむを得ない事情がある場合は教育委員会の許可を受け

て変更できる。現在区域外就学者は、小学生5人、中学生はいない。区域外就学は下校後の保護に欠ける場合や生徒等の精神面の安定を図る場合に許可している。部活動や通学距離等の理由の申し立ては許可していない。

学校再編はもつと議論を

町「教育民生常任委員会に意見を聞いた」

意見聞いた

【質問】 学校再編については、先日開催の総合教育会議にて「町教育大綱を一部修正する」と申し合わせたようである。

昨年9月、今年3月議会にて再々度質問時

に町長は答弁で「早い時期に議会と相談し、進め方を含めて検討する」とあったが、議会とどのような相談、議論があったのか。もつと議論が必要では。

【答弁】 学校再編について町執行部としては、常任委員会制を設けている限り、教育問題は教育民生常任委員会を中心に意見を聞いた。今後、委員以外にも意見があるのであれば、議会の中で協議していただきたい。



早期再編を待つ声も

保育「無償化」で

給食費徴収はやめよ

町「従来通り負担していただく」



鍋谷真由美 議員

か。町独自に保育料を引き下げていた財源で実現できるのではない

【質問】 幼児教育・保育の「無償化」がこの10

月から実施予定だが、消費税が財源であること、低所得世帯は恩恵がない、給食費が実費徴収になるなど親の願

いとかけ離れている。乳幼児の給食は「食育」であり、保育の一環である。また、給食費は保育に要する費用に含まれており、給食費だけ実費徴収という

のはおかしい。県下では、丸亀市と三豊市が全額補助を決めている。本町でも3〜5歳児の給食費の全額補助を求めるがどう

【答弁】 保育料の中に副食費を含んでおり、今回の保育料無償化は、副食費を除いた保育料部分の無償化となる。

副食費は従来どおり、幼稚園は、1食245円、保育所は、国が示した副食費の基準額4500円と主食費5000円を合わせた月額5千円を負担していただく。

市町村民税所得割額が一定額未満の世帯と第3子以降は徴収せず、新たに負担増になる世帯はない。



給食の様子

引きこもり支援は

町「窓口を設けて相談を受ける」

【質問】 県が引きこもりに関する調査を実施し、

県内で726人、40代以上が半数、20代以上が20%など、高齢化と長期化がうかがわれたと報道された。本町でもそういう方が多くいると考えるが実態はどうか。

50代の引きこもる子を80代の親が支えて困窮する「8050問題」が、注目される中、相談、支援の体制、取り組みは、

【答弁】 香川県の調査では、小豆郡内で46人。新規の相談が民生委員

などを通じて毎年2件程度あり、継続的に支援に当たっている方は、毎年5人程度で推移している。

サポート事業として相談窓口となるとともに、情報発信、ひきこもりサポーターの派遣など、香川県と連携し実施することで、すき間のない支援の実現に努める。

食品ロス削減について

町「国の方針を待って検討」

【質問】 食べられるのに捨ててしまう食品ロスを軽減する「食品ロスの削減の推進に関する法律」が5月31日公布された。ロス削減を国民運動とするとともに、

政府に基本方針策定、自治体に推進計画策定、事業者には施策への協力を求めている。消費者の役割も明記され、

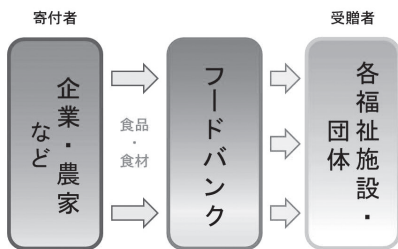
貧困や災害で必要な食べ物を十分に入手できない人々に提供することなどフードバンク活動への支援も盛り込まれた。

本町での実態と取り組み、今後の計画は。

【答弁】 政府の基本方針を待ち、具体的な施策を検討する。

イベントでの食品ロス削減に関するチラシの配布に合わせてアンケート調査を行い、情報収集を行いたい。

社会福祉協議会のフードバンク事業は素麺組合、県社協などからいただいたものを、月に1人程度の必要の人に配っている。



フードバンク関係図（農林水産省HPより）

一般質問



歴史と伝統文化の継承と 新しい文化の創造

井口 平治

(中山自治会会長)

中山地区は、小豆島のほぼ中央に位置し、山肌広がる棚田を中心として、奥深い山々、その谷間を流れる殿川、点在する民家で構成されており、『美しい日本の歴史的風土 100 選』や『にはんの里100選』に選ばれている日本の原風景ともいえる集落です。

当地区では、7月には伝統行事『虫送り』が行われます。火手と呼ばれる松明を田にかざしながら畦道を歩き、害虫を退治し豊作を願うものです。ゆらゆらと揺らめく幻想的な光の列は観る人を魅了しています。そして、10月13日には300年以上の歴史を有する『中山農村歌舞

伎』が行われたところです。五穀豊穡を祈願して、役者から裏方まで地元の手によって上演されている伝統芸能です。

先人たちがコツコツと築き上げてきた棚田や伝統を守り伝えることが我々の使命と思っています。

また、今年は瀬戸内国際芸術祭2019 の会場として、王文志さんの作品『小豆島の恋』が展示され、多くの来場者でにぎわっています。

現代アートで地域の新たな魅力を創造し、中山地区、特に若者による活性化に期待しています。



中山地区の様子

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は 12月中旬 です。

星城クラブ

星城クラブは、星城小学校に通う、野球が大好きな子どもたちが集まっています。現在、部員は1年生から4年生が12人おり、毎週水曜日と土曜日・日曜日は練習に励んでいます。

練習内容はランニングから始まり、キャッチボール、バッティング、ノックなどを行っています。また、子どもたちが大好きな練習メニューが、2チームに分かれての試合形式の実戦練習です。毎回大きな声を出しながら楽しんで練習しています。

9月には6年生が引退してから初めての試合がありました。子どもたちはまだまだ成長の途中ですが、監督、コーチ、保護者、子どもたち、一丸となって野球



監督 亀井 俊輔

を楽しみながら頑張りたいと思います。

主に星城小学校のグラウンドで練習をしていますので、野球が大好きな子どもたちの貴重な時間を一緒に楽しみませんか。いつでも気軽に見学、体験をしに来てください。興味のある方はご連絡お待ちしております。

編集後記

広報編集委員として、毎回毎回悩むことがあります。

限られた紙面の中で、議員が訴えたいことが正確に表現されているのか。そして住民の皆様に分かりやすく伝わっているのか。また、住民の皆様が欲しい情報に掲載されているのか。

こうやって文字に起こしてみると、皆様の声をいかに聞けていないか、集められていないかに気付かされます。

自分たちの出したい情報を出すだけでなく、住民の皆様を知りたい情報を集め編集する。あたり前の原点に立ち返りさらにブラッシュアップされた「議会だより」をお届け致します。

三木 卓記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp